

平成 27 年 2 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

平成 27 年 2 月 26 日
横浜市健康福祉局健康安全課
TEL045(671)2463
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
TEL045(370)9237

今月のトピックス

- 1 インフルエンザが昨シーズンより 6 週早く、警報解除基準値(定点あたり 10.00)を下回りました。
- 1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加しています。

全数把握の対象

【2 月期に報告された全数把握疾患】

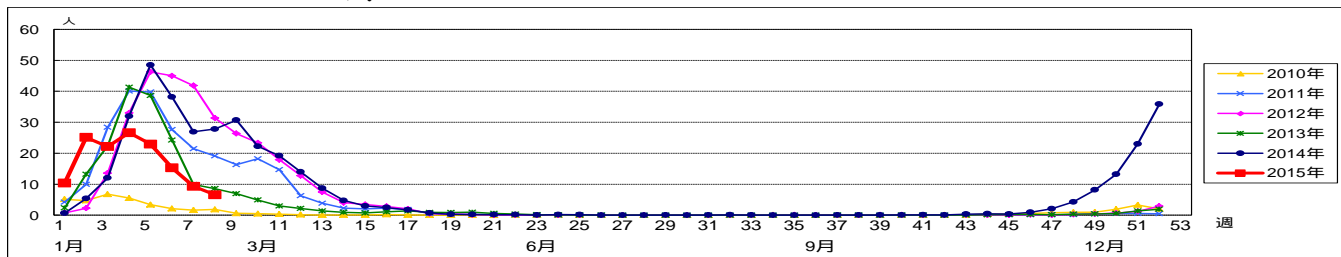
腸管出血性大腸菌感染症	1 件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6 件
腸チフス	1 件	急性脳炎	4 件
パラチフス	1 件	クリプトスポリジウム症	1 件
A 型肝炎	1 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)	4 件
つつが虫病	1 件	ジアルジア症	1 件
デング熱	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	11 件
レジオネラ症	3 件	水痘(入院例に限る)	3 件
アメーバ赤痢	2 件	梅毒	6 件
ウイルス性肝炎	1 件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 件

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: 1 件(O157VT1VT2)の報告がありました。感染原因や経路は不明です。
- 2 腸チフス: 1 件の報告がありました。インドネシアでの感染が推定されています。
- 3 パラチフス: 1 件の報告がありました。インドでの感染が推定されています。
- 4 A 型肝炎: 1 件の報告がありました。国内での経口感染が推定されていますが感染経路等不明です。
- 5 つつが虫病: 1 件の報告がありました。ラオス(ルアンナムター)での感染が推定されています。
- 6 デング熱: 1 件の報告がありました。インドネシア(バリ島)での感染が推定されています。
- 7 レジオネラ症: 肺炎型 3 件の報告がありましたが、それぞれ明確な感染経路等不明です。各症例について引き続き感染経路等調査中です。
- 8 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 1 件と腸管アメーバ症及び腸管外アメーバ症 1 件の報告があり、どちらも国内での感染で、明確な感染経路は不明でした。
- 9 ウイルス性肝炎: B 型肝炎の報告が 1 件ありましたが、感染経路等不明でした。
- 10 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 6 件の届出がありました。院内での集団感染等はありませんでした。
- 11 急性脳炎: 4 件(すべて幼児)の報告がありました。そのうち 2 件はインフルエンザ A 型(いずれも予防接種歴不明)でした。他の病原体については現在検索中です。
- 12 クリプトスポリジウム症: 1 件の報告がありました。フィリピンでの水系感染が推定されています。
- 13 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者 1 件、AIDS 2 件、その他 1 件の報告がありました。3 件は国内での同性間性的接触、残る 1 件は日本又はインドでの感染が推定されており、感染経路は不明でした。
- 14 ジアルジア症: 1 件の報告がありました。カンボジア(シェムリアップ)での経口感染が推定されています。
- 15 侵襲性肺炎球菌感染症: 11 件の報告がありました。50 歳代が 2 名、60 歳代が 3 名、70 歳代以上が 6 名でした。そのうち 70 歳代の 1 件は 3 年ほど前に予防接種を受けていましたが、他は予防接種歴は無いが確認できませんでした。
- 16 水痘(入院例に限る): 学童 1 件(検査診断例。予防接種歴 2 回有り。)、50 歳代 1 件(検査診断例。予防接種歴不明)、70 歳代 1 件(臨床診断例。予防接種歴不明)の届出がありました。
- 17 梅毒: 晩期顕症梅毒 2 件(1 件は異性間性的接触、もう 1 件は感染経路感染地域等不明)、早期顕症梅毒 1 件(国内での異性間性的接触)、無症候期 2 件(どちらも国内での感染で、1 件は同性間性的接触、もう 1 件は性的接触)、病型確認中 1 件の報告がありました。
- 18 バンコマイシン耐性腸球菌感染症: 1 件の報告がありましたが、院内感染等はありませんでした。

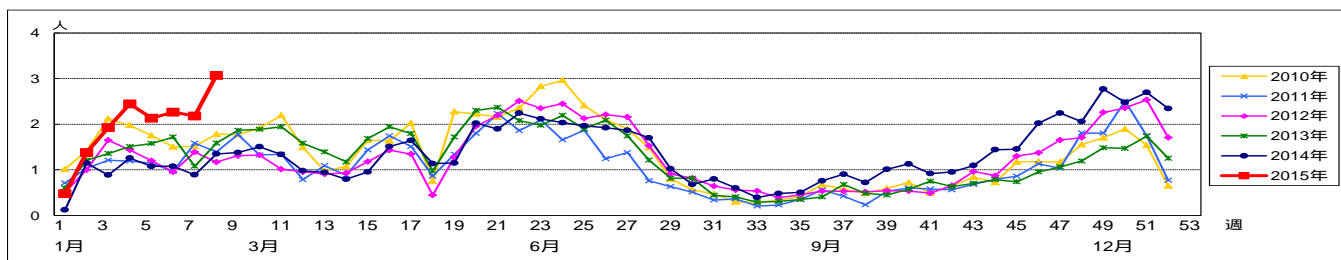
定点把握の対象

平成 27 年 週 - 月日対照表	
第 5 週	1 月 26 日 ~ 2 月 1 日
第 6 週	2 月 2 日 ~ 8 日
第 7 週	2 月 9 日 ~ 15 日
第 8 週	2 月 16 日 ~ 22 日

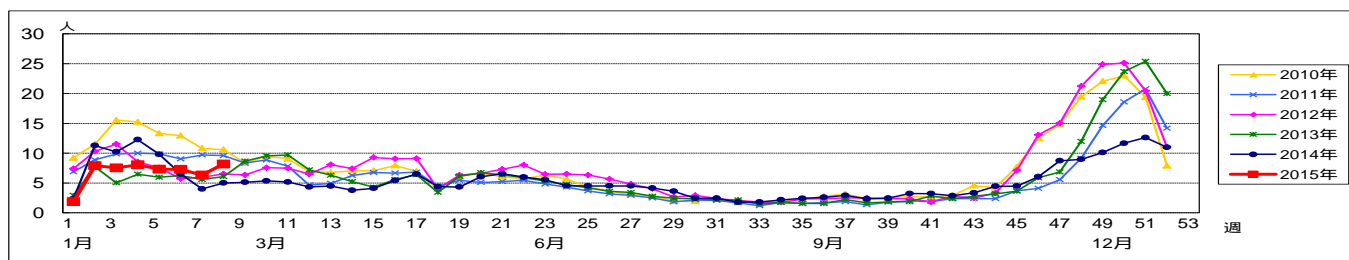
- 1 **インフルエンザ**:第 7 週に定点あたり 9.30 と、昨シーズンより 6 週早く警報解除基準値(10.00)を下回りました。第 8 週は 6.57 とさらに減少傾向です。今シーズンは、シーズン後半になっても B 型の著明な増加は見られず、第 8 週で迅速キットの結果は A 型 86.8%、B 型 13.1%、AB 型 0.1%となっています。



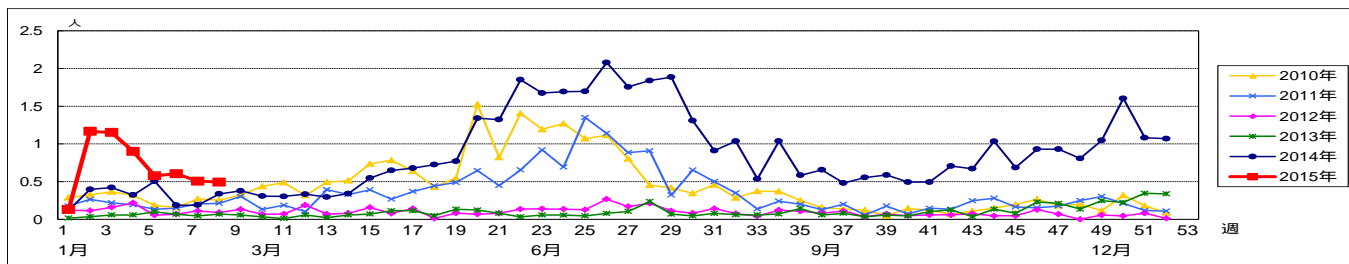
- 2 **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**:第 8 週は市全体で定点あたり 3.07 と、この 6 年間で最も多くなっています。



- 3 **感染性胃腸炎**:第 8 週は市全体で定点あたり 8.18 と落ち着いています。



- 4 **伝染性紅斑**:第 8 週は市全体で定点あたり 0.49 と、徐々に減少しつつあります。



- 5 **性感染症**:1 月は、性器クラミジア感染症は男性が 12 件、女性が 11 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 6 件、女性が 15 件です。尖圭コンジローマは男性 6 件、女性が 3 件でした。淋菌感染症は男性が 13 件、女性が 1 件でした。
- 6 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第 5 週 0.33、第 6 週 0.00、第 7 週 0.00、第 8 週 0.00 と落ち着いています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は、第 5 週 0.67、第 6 週 0.00、第 7 週 0.33、第 8 週 2.00 と報告されています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。
- 7 **基幹定点月報**:1 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 4 件の報告がありました。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>